横浜市立瀬ヶ崎小学校　学校便り
せがさきの風
大きな朝日さしのぼる　希望と愛の花が咲く
世界に窓を開け放つ　ここは　瀬ヶ崎小学校
10月号
2021（令和3）年
10月 4日発行
〒236-0037　横浜市金沢区六浦東三丁目２番１号
TEL 781-2446・2447　FAX 701-4892
ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/
メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp

みんなに会える!!

学校長　梅田　比奈子

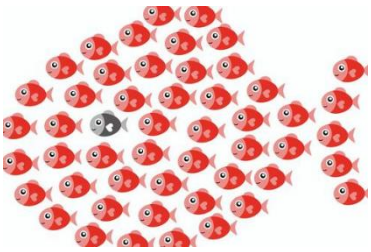
長かった夏休みが終わり、分散登校が始まった９月。クラスの半分が交代で登校してきました。「とてもうれしいけど、やっぱりちょっとさみしい」そんな毎日でした。朝と帰り、校門に立っていると、子どもたちは、元気に挨拶をしてくれます。そして、子どもたちは、色々な物を見せてくれます。「自分で育てた植物の種」「捕まえたオンブバッタ」「買ってもらった髪飾り」「作った夏休みの作品」・・。そして、たくさん、話しかけてくれます。子どもたちは、色々な不安を抱えながらも日々を楽しく、一生懸命過ごしていることを感じます。でも、授業中、校舎を回ると、教室はやっぱりガランとして静かです。昨年、休校が終わって、元気な子どもたちの声が学校に戻ってきた時、「学校の主人公は、子どもたちだ。」と実感したことを思い出しました。

分散登校が終わる日の帰り、ある子どもがとてもうれしそうに、私に話しかけました。「４日になったら、みんなが来るよ。みんなに会えるよ」と。

２年生の国語の教科書に「スイミー」という物語があります。赤い小さな魚のきょうだいたちと暮らしていた一匹だけ真っ黒なスイミー。ある日、小さな魚たちは、大きなまぐろに食べられてしまいます。たった一匹残ったのはスイミーだけ。海の中を泳いだスイミーは、ある日、たくさんの小さな魚のきょうだいたちを見つけます。でも、魚たちは、大きな魚が怖くて、自由に泳げません。そこで、スイミーがたくさん考え、「みんなで一緒に泳ぎ、大きな魚のふりをして泳ぐ」ことを提案します。小さな魚が、一匹の大きな魚になり、大きな魚を追い出すのです。

スイミーは、一匹で海の中を泳ぎ、素晴らしいものに出会います。そして、みんなにもその感動を伝えたいと思い、できる方法を考えたのではないでしょうか。スイミーの考えを受け止めた小さな魚たちは、力を合わせて思いを実現しました。

今まで、子どもたちは、夏休みや分散登校の中で、一人一人が様々な物事に出会い、色々なことを感じてきたでしょう。そして、「こうしたい!!」という思いを強くしてきたのではないかと思います。これから、スポーツフェスティバルや様々な行事があります。勉強もみんなでできます。スイミーが提案し、みんなで実行していったように、瀬小のみんなも一人ひとりが考え、実現に向けて力を合わせて取り組んでいく姿をたくさん見せてくれるでしょう。



スイミーは「ぼくが、目になろう。」と言います。子どもたち一人ひとりが、得意なことや好きなことを活かして輝き、力を合わせて活動できる、素敵な１０月にしていきたいと思います。「みんなに会える!!」それだけでワクワクしながら、これからの学校生活への思いが高まってきました。

学校では、引き続き、感染対策に努め、子どもたちが安全に日々を送れるように努力していきます。保護者、地域の皆様にも様々な面でご協力をお願いするかと思いますが、どうぞよろしく、お願いいたします。